

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [渋谷区立鉢山中学校] 担当教諭名 [柴岡 竜一郎] (1-3年 98名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Fuhe Junior High School] 担当教諭名 [Tiffany Pan]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	17
	英語	「世界とつながろう」「自己紹介」 パワーポイントの英文作成	3
	部活動	美術部「壁画制作」	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SPACE AQUARIUM
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	太陽系で生命が繁栄している唯一の星である地球の水資源を大切に、地球の環境が壊れないようにできることを人類全体でしよう。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 生徒がSDGsの知識を身に付けられるだけでなく、節水やごみの排出を注意するなど意識ができるようになった。 海外交流を通して、他国の文化や環境を学ばせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の国について調べる時間を多くとること。 SDGsについてお互いの国でもう少し深く協議することができたらよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 生徒に、日本が水資源に恵まれている国であることを認識させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の国の事情や人柄などを知ることができた。 日本と台湾の教育方法の違いを知ることができた。 振り返りの時間が十分に取れなかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 10月	・パワーポイントを用いた自己紹介の作成をした。	・海外から見た渋谷というものを考える機会ができたことで、地域について改めて知ることができた。	総合3 英語1
共有 テーマ学習	6月 ～ 10月	・SDGsの目標6番目、14番目について調べ、新聞にまとめさせた。 ・新聞にまとめた内容をもとに SDGsの目標6番目と14番目について日本の課題と将来の展望について考えさせ、パワーポイントにまとめさせた。	・SDGsについて調べることで、持続可能な社会をつくる意義や取り組みを知ることができた。	総合7 英語2
融合 メッセージ作成	10月	・SDGsについて協議したことを基に、互いの国が壁画の原画案を5つ描いた。そのなかから互いに1つを選び、作成する絵を決めた。	・互いの国が持っている水や海への価値観を、絵を通して感じることができた。	総合4
創造 壁画制作	11月 12月	・選んだ原画をもとに絵を作成した。美術部が中心となり、絵のベースを作り、1、2年生が背景にある海洋生物の絵を描いた。	・全校で協力して一つの作品を作る良さを知ることができた。	総合3 部活動6
評価 振り返り 自己評価	3月	・文化祭で、1年間の取り組みをパワーポイントにまとめて発表した。	・振り返りを通して、自分たちの取り組みを再確認することができた。	行事1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	3	・台湾の自己紹介を聞いて、水資源についてなど、自国との違いを言葉にできた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	・自己紹介の作成をするときに、他国から見た日本について考えながら紹介文を作ることができた。 ・日本と台湾の水資源の違いについて考え、言葉にすることができた。
主体的に考え行動する力	4	・SDGsについて、6番目と14番目以外について新聞を作成する生徒もいた。 ・絵の原画作成などを自発的に取り組む生徒もいた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	・互いの調べたSDGsの内容について協議したときに、十分理解することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	・ビデオ会議で使うパワーポイントを積極的に制作し、台湾の生徒に伝えることを考えながら発表原稿を作ることができた。 ・全校生徒が積極的に壁画制作に関わる姿勢をもっていた。